



【大好きな学校、ありがとう、さようなら】

閉校

2月25日から3月3日にかけて、大野・菅尾・馬見原の3小学校と蘇陽高校で閉校記念式典が行われました。「母校がなくなる…」「地域の学校がなくなり、子どもたちの声が遠くなる…」各地域の方には、非常にさみしい、別れの儀式でした。

しかし、各校の特色ある伝統が終わるわけではありません。新しい学校は、その伝統という土台の上に、新しい伝統を積み上げていきます。

Contents 主な内容

2～10P	閉校記念式典	25P	すくすく育て
22～23P	まちの話	26～27P	蘇陽高校閉校式・卒業式
24P	出初め式	28P	駅伝・写真コンクール



2年連続の3位入賞。上益城郡チーム

堂々の3位 第38回 郡市対抗 熊日駅伝大会

天草市役所前をスタート、熊本市のびふれす熊日会館前をゴールとする14区間、105.3kmで争われる郡市対抗熊日駅伝大会。2月12日に行われたこの大会で、上益城郡チームは天草市、球磨郡について、3位でゴール。記録は天草市から約2分遅れの5時間30分14秒でした。

町からは、区間賞を獲得した栗屋育太郎選手・山村隼選手など7人が出場し、いずれも上益城郡チームの3位入賞に大きく貢献する走りを見せました。

町からの出場者（敬称略）
4区／藤河健（長崎大）、6区／栗屋育太郎（区間賞・陸上自衛隊）、7区／山村隼（区間賞・九州学院）、8区／渡邊大樹（開新高）、9区／藤本和秀（五ヶ瀬ワイナリー）、12区／橋本登志郎（陸上自衛隊）、14区／藤河貴也（矢部高）

山都町 写真コンテスト

山都町と全日本写真連盟熊本本部並びに朝日新聞社が主催した山都町コンテスト。県内外の64人の写真家から208点の作品応募がありました。これらを全日本写真連盟西部本部委員の渕上忠臣氏らが審査、最優秀賞には、通潤橋放水の瞬間の橋の上の風景を写した、高鷹春一さん（福岡市）の作品「晩秋の頃」が選ばれました。

2月18日に通潤山荘で表彰式が行われ、最優秀賞に輝いた高鷹さんのほか、優秀賞2点、特選2点、入選20点の入賞者が表彰されました。

コンクールの入賞作品は、7月に観光案内所ルポンドで展示されるほか、4月15日から崇城大学ギャラリーでの展示も予定されています。



最優秀賞「晩秋の頃」高鷹春一さん

平成23年度交通安全標語 コンクール入選作品

山都地区交通安全協会が募集した、交通安全の標語コンクールの入選作品を毎月2作品ずつご紹介していきます。（学校名・学年は当時）

ゆずりあい やさしいきもち じこぼうし (中島小6年 原住春汰)
あさねぼう あせるきもちが じこのもと (潤徳小1年 柴田嘉徳)